

平成 23 年 度

## ふれあい地域懇談会報告書

### 〈 深 沢 地 域 〉

1 日 時	平成23年7月19日（火） 午後2時～4時
2 場 所	深沢学習センター ホール
3 出 席 者	自治・町内会長 26名
4 市側出席者	松尾市長、瀧澤経営企画部長、嶋村防災安全部長、小磯市民経済部長、相澤環境部長、土屋景観部長、山内都市整備部長、高橋拠点整備部長、宮崎深沢支所長
5 テ ー マ	1 防災対策について 2 市長の進めるごみ問題の見直しについて 3 公園の管理（富士塚）について 4 車のスピード取締り強化について 5 町内会の活動について (1) 町内回覧について (2) ごみ置き場設置場所について 6 深沢地区国鉄跡地周辺整備計画の進捗状況について

平成 23 年 11 月 経営企画部 市民相談課

## テーマ1 防災対策について

### ●打越町内会 久保田会長

市長のあいさつの中でも防災の話があり、宿泊訓練にも触れていた。私は、自主防災の企画、編集委員をやっているので、市長が小学校に宿泊したと聞いて、非常に頼もしいと思った。

私の3月11日のことについて話をしたい。当時、私は、鶴岡八幡宮内の鶴岡文庫にいた。地震のため、講座は途中で打ち切り、解散。その後、余震を八幡宮の中で受けた。

その時までは、「震源は東北であり大したことはない」と思っていた。しかし、信号が消え、八幡宮前の道路に徐々に渋滞が発生したため、自宅まで徒歩で帰るべきと判断した。

私は自主防災にも関わっているので、総合防災課の状況を知るため、第三分庁舎に入ろうとしたら止められた。

市役所の庭に、市の職員が大勢いて、1/3の職員はヘルメットをかぶっていたので、市内を巡回するのかと思ったが違っていた。知り合いの議員に、深沢小学校は保護者の迎えがないと子供が帰れないことになっていると聞いた。逼迫した状況であることがわかり、急いで帰宅するが、電話が通じず、連絡が取れなかった。

私たちは、何かあったとき、町内会長であることを意識できるのか。私もしばらく茫然として、30分ぐらい経ってから、「町内では何かあったか」と思い、バイクで走り出した。

「日常のじいさん」が災害時に本当に「町内会長」として役に立つのか、自己反省しているところである。

災害に関しては、やはり国や自治体が大切だと思うが、鎌倉市長の「慌てないで落ち着いて行動してください」という無線放送は大変良かった。ただ、市長が話しかけていることが判ったほうが良い。「これから市長が話しをします」のような前置きをしてから話したほうが良い。

話の内容より市長が防災無線を使って話をしたことを皆は良く思っている。

今後、関東地域で地震が起こったときの想定被害とその対策はどうなっているのか。例えば、津波が一の鳥居を超えると、消防署は甚大な被害を受けるが、その場合、どのように対処すればよいのか。「東日本大震災復興構想会議」という日本の素晴らしい学者が書かれた構想でも、専門家が批判的に言えば、「国が「こうします」と言っているだけで、市民の声が必ずしも反映しているとは思わない。自治体にどれだけ任せているのか、自治体に任せて、国はお金だけを出せば良いという観点はまったくない。」という批判の後、市長と市民が話し合うことは民主主義の根幹であると発言されたのをテレビで見た。

鎌倉市がどういう方針を持って市民に呼びかけるのかお聞きしたい。

何が悪いではなく、これからも行政側と市民あるいは各自治町内会会長が、いろいろな話をしながら詰めていくのがよいのではないかと思う。

○嶋村防災安全部長

自助・共助・公助という3つの助ける言葉があるが、まず自助として、皆さん達だけで助かるために何ができるか考えていただくことが大切である。次に地域コミュニティの中で、共に助け合うという中で何ができるか。そして公助として、市としての災害に向けての準備や災害時対応などを、それぞれ考えていくことが基本である。

津波に対する鎌倉市の今後の計画は、計画自体は法律に基づいて国、県、市の順で見直しを行うため時間がかかるので、その間の対応について検討している。そのためには、市民の方々の意見を聞くだけでなく、津波訓練を通じて課題が浮き彫りになるので、地域の皆さまと話し合い、計画に位置づける。鎌倉市が勝手に計画を作るのではなく、地域の実情に合った整理をしていくことが必要と考えている。

もうひとつは、どんなハードを作っても、想定を超えることがあるので、神奈川県も進めている減災をひとつの目標にしていくことを検討している。その中で、市はソフト・ハードの面を整理して、皆さんの意見を伺うあるいは訓練の結果などを考え合わせながら、防災計画に位置付けていきたいと考えている。

●谷際自治会 亀井会長

東日本大震災の後、計画停電が始まり、その知らせが防災無線放送で行われたが、何を言っているのかさっぱり判らない。また、違うエリアの情報が何度も流れてきて大混乱になった。要するに、いろいろな計画や訓練が実施されていても、重要なメッセージ、即我々に伝えるべきメッセージが正しく伝わらないと何の役にも立たない。この改善を切に願っている。

○嶋村防災安全部長

「放送が聞こえない」というご意見を各地でいただいている。沿岸部の放送の聞こえない場所に、年内に防災無線を作る予定である。鎌倉の地形ですべての地域に防災無線を作って、100パーセント聞こえるようにすることは難しいと思う。そのため、複数の情報伝達手段を実施している。また今後、防災ラジオの導入を試行する。スイッチを入れておくと、防災放送が流れた時、その電波をひろって、ラジオから防災放送を聞くことができる。

市でもいろいろな手段を検討するが、皆さまもご自宅でラジオを備え、情報収集をしていただきたい。

今回の計画停電では、東京電力が対応しきれず鎌倉市が周知した。今後は計画停電の計画の段階で知らせるのではなく、実施の際に、複数の手段を用いて周知したい。

●谷際自治会 亀井会長

地域によって放送の内容は異なって然るべきである。計画停電に関しては、我々とは関係のない地区の情報が流れてきて、我々に重要な内容が流れてこなかった。市全体に同じ内容を放送するのではなく、いくつかの地域に分けないと大混乱になるので、検討していただき

たい。

○嶋村防災安全部長

その通りだが、今は基本的に、地域を限定して放送することができない。

沿岸域だけ、あるいは大船地域だけ流すということができるが、計画停電の区切りは複雑であり対応できない。防災安全メールにより放送の内容を知ることができる。

●谷際自治会 亀井会長

それでは不十分。老人、子供などメールを見ない人はたくさんいる。耳に聞こえる、目に見えるものでないと正しく伝わらない。

○嶋村防災安全部長

そこは、自主防災組織や地域の中で協議していただきたい。情報伝達に複数の手段が必要だと思うし、充実させていくことも考えている。

●梶原町内会 山井会長

現在の防災マップの見直しをしているのか。

自分の住んでいる所の海拔を知りたい市民は多いと思う。道路の要所に海拔の看板を掲示すれば、今、自分がいる場所の海拔がわかり、津波の際にどこに逃げたらいいのかも想像がつくと思う。そのような内容もマップにも入れていただくとよいと思う。

○嶋村防災安全部長

神奈川県で防災計画の見直しを行っている。それを受けて、市でも防災マップを作り直す。

海拔に関しては、市民の問い合わせが多い。6月補正予算で電柱に海拔を表示する事業の予算が認められたので、秋頃を目安に、沿岸部を中心に約300本に、海拔の表示をつける。また、広報かまくら8月15日号で鎌倉市全域の海拔別に色分けした見開きの地図を作成し、全戸配布する予定である。ご覧いただき、お住まいの地域の海拔を確認していただきたい。

●大平山丸山町内会 曾根田会長

先ほど久保田会長からも話が出た「町内会長として何ができるのか。」を問いたい。防災組織について、町内会の役員と、組織が機能的に働くか、機能的に働かせるにはどうしたらよいかを話し合った。訓練をやらなければ機能的にならないことはわかるが、訓練への参加者は少ないと思う。また、訓練をしても、実際に災害が起こった時に対応できないことが多いのではないかと。つまり、底辺の組織をよく動くようにしないと、どんな立派な組織を作っても、どんな立派な考え方を言ったとしても効果が出てこないと思う。

深沢消防署に、訓練と組織について懇談を依頼している。どうしたら皆が訓練に参加してく

れるのか、参加してくれない人にはどうしたらよいのか。どのようにしたら、皆さんに動いてもらえるのかが悩みである。地道な訓練をするためにはどうしたらよいのかをお教え願いたい。

○嶋村防災安全部長

職員には、市民を助けるためにどうしたらいいのか考えるように言っている。会長さんとして、個人の領域にどこまで立入るか難しい問題である。市でも出前講座を行っているので、ご活用いただきたい。

●大平山丸山町内会 曾根田会長

消防署に依頼したのは間違っているのか。

○嶋村防災安全部長

訓練をやるのが消防であり、市では防災について話などをさせていただく。ただ、消防署と一緒にというご要望であれば対応は可能である。

●鎌倉グリーンハイツ管理自治会 持舘氏

防災に関しては、行政主導というよりも、個人が家庭内での連絡が密になるのが一番よいと思う。

当日、私は夫婦で東北にいたため、安否の連絡などで皆さんと違う大変さを体験した。

常日頃、家庭の中で何かあったときの連絡方法を決めておくと思い良かった。グリーンハイツでは、年に一度防災訓練をしている。参加されない人もいるが、訓練することに意味がある。3月11日以降は、関心が強くなっているので参加されるのではないかと感じた。訓練の実績を繋げていくことが必要だと感じた。

○松尾市長

鎌倉に戻ることがいかに大変だったかの状況がよく分った。逆に鎌倉に観光に来ていた方の多くも足止めをされ、市内全域で5,000人ぐらいの人が市役所や生涯学習センターなどに宿泊した。市役所に宿泊者を迎えることなどは想定外であったことを含め、この経験を活かして、早急に対応計画を作り、より安心安全なまちづくりに向けて取り組んでいきたい。

●深沢地区連合町内会 梅澤会長

これからの防災の問題に、今まで以上に行政と一緒にあって、安全に向かって取り組んでいただけたらありがたいと思う。

## テーマ2 市長が進めるごみ問題の見直しについて

### ●山崎町内会 内海会長

まず、昨年話し合った内容についてどうなっているのかを聞きたい。  
市長から昨年以降の変化の様子を伺いたい。

### ○松尾市長

昨年、この場で山崎のバイオマスエネルギー回収施設を建設せず、市民・事業者の協力を得ながらごみの削減をしていきたいと話した。昨年11月に市の方針として固まった。

今年6月には行政計画として位置づけることができた。それに基づいて、議会へごみの削減策についての予算計上を含めた、ごみの処理の予算を承認いただけるようお願いしているところである。しかし、ごみの削減に関わる予算については、一部理解が得られず、否決もしくは削減されている状況である。今後の進め方を市内で検討している。現段階では、山崎バイオマスエネルギーの生ごみ資源化施設を作らずにごみの処理を進めていくという基本的な考え方は変更がないとご理解いただきたい。

### ●山崎町内会 内海会長

ごみの減量化について、町内会でも推進委員の数を1名から2名に増やしている。その方の報告を聞くと、ごみの減量化について、我々市民がどういう方向を持って、何をしていけば良いのかなかなか見出しにくい状況にあるという話である。機械の購入の案内、市の補助の話もあるが、町内会から会員に勧めてよいものかと思う。機械を購入した際のメリットの伝え方が弱く、また推進委員からの押しも弱い。せっかく推進委員を選出したが、手詰まり感がある。更に問題を突き詰めていただくために、個人的な意見ではあるが、ごみ減量に関するプロの職員を養成するというような形はできないか。

町内会としては、この問題ばかり関わってられない。市長が進めるごみ減量化について、職員が研修を受けるといったような場を市内に限らず、ほかの自治体を参考にしたりして、ごみ減量化のプロを育てて、その方に発言・提案をしていただき、それを市民に提示するというようなことができないか。我々の片手間ではできない。

### ○松尾市長

推進委員の方を始め、市民の皆様のご協力で、リサイクル率も日本の中で常にトップであり続けている。更にそれを進めていくなると、意識の高い方には、「これ以上何をやったら良いのか」という意見が出るのは当然のことだと思っている。

家庭での生ごみの処理については、特に若い世代の方々をお願いをしていきたいと思っている。今まで取り組んできたがうまくいかなかったり、失敗したケースもある。市では、相談員による指導も考えていたが、予算が否決されてしまった。家庭での生ごみに対する高い目標

数値は設けていないが、行政が丁寧に説明させていただきながら進めていきたい。

分別の徹底も、一人暮らし世帯を中心に教育、指導をやっていきたい。

さらに、日頃の生活の中でできること、例えば、買い物時にレジ袋使わない、過剰包装を断るなどのことについて協力を求めたい。

事業者側にも、ごみに繋がる過剰サービスを自粛することを、求めていかなければならないと思っている。包括的にごみの発生抑制からリユース・リサイクルへの取り組みを強化していきたいと考えている。

専門的職員の育成については、予算の関係はあるが、今後検討し、身近に、かつ、気軽に相談が受けられる体制を作っていきたい。

#### ●山崎町内会 内海会長

家庭ごみへの対応については、家庭をひとくりにするのではなく、居住形態に応じたきめ細かい対応ができるのではないかと。

また、議会の賛成が得られないとのことだが、ごみ削減の方向性を議員と話し合う場を設けるなど、分かり合いながら、議員に理解を得るような活動もお願いしたい。

#### ●谷際自治会 亀井会長

ごみの有料化について、平成24年から試行を行い、25年全面実施、26年当初から実施するとあるが、これに関しては、自治会会員から聞かれるので、見解を教えてください。

#### ○松尾市長

戸別収集と有料化は、行政計画であるごみ処理事業計画に位置づけていて、その方向で進めたいと考えている。まず、試行的に地域を選ばせていただいて、課題などを抽出しながら、試行地域を広げ、最終的には全市的に行っていくという3段階で計画している。

しかし、議会で理解を得られず、予算も否決されているので、試行もできない状況である。予算がつき次第、皆様方にも説明に入れるよう進めていきたい。具体的な話ができる段階ではないが、私見として話させていただくと、近年、クリーンステーションでのトラブルが多く発生している。各家庭の前にごみを置くことで、自分のごみに責任を持っていただくことができるのではないと思う。また、各家庭でのごみの出し方について、よりきめ細やかな対応ができると思っている。

有料化については、全国の半分以上の自治体で実施されているという状況である。単にお金を取るという考えではなく、自分の力でごみを減らしている方には負担を少なく、ごみを多く出す方には負担を多くというように考えてはどうかと思っている。当然、各家庭の人数や家族構成に応じたごみ量に対する、きめ細かい対応が必要だと思っている。金額の設定にも様々な考え方があるが、有料化に向かっている葉山町では、一定量までは無料とし、超えた部分を有料にするという考え方で進めていくと聞いている。私もこの方法が、より市民の方に、

ごみに対する認識が広まっていくと思っている。

ただ、決まった話ではないので、私の考えとして聞いていただきたい。

### テーマ3 公園の管理(富士塚)について

#### ●山崎町内会 内海会長

この問題についても、去年の議題に出した。昨日、現地を見に行ってきたが、何も手を加えられていない。我々が幼いころはそこで遊んだものだが、現状は、桜の木が生い茂り、普通の人が入れないほど荒れ放題になっている。防犯上の問題、日照の問題もあるので、どうにかしていただきたい。

#### ○土屋景観部長

富士塚のある所は本来公園ではなく、富士塚緑地といって緑地の保全をするために、平成13年に野村不動産から寄付を受けた約1,000㎡の土地である。したがって、公園として整備して利用するということは想定していない。

道路際や住宅に影響した部分の枝落としは実施しているが、それが不足しているのかと思っている。緑地は緑を保全する目的があり、周辺住民の住宅へ越境した場合の枝落としや道路沿いのすそ掃いは、要望があるので実施している。梶原方面にも同様な緑地が住宅地内に多数あり、同様な管理をしている。

要望をいただければ、職員を現地に行かせて、状況を確認した上で個々に対応する。

富士塚緑地については、公園整備は行わないが、どの程度の管理を行うか、また、周辺の方と一緒に管理する作業もあるので、その調整が必要である。あと、周辺の緑地が民有地として残っている場所がある。市街化区域であり開発が起きてはいけけないので、できれば所有者の理解を得ながら、もう少し担保性の強い緑地に、富士塚緑地の周辺も含めて保全をしていきたいと考えている。緑地の管理については、場所によって管理の仕方が違うので、具体的には、現地に職員を行かせて対応させていただければと思っている。

#### ●上町屋町内会 内海会長

塚の所まででも、誰でも入って見られる程度の整備をお願いできないか。いろんな木が生い茂っていて、入っていくと怪我をする。

泣塔も荒れ放題であるが、そこも見られるようにしてもらいたい。

#### ○土屋景観部長

富士塚については、昔は山道になっていた。昔の塚であることを踏まえて対応したい。

泣塔については、周辺を公園整備して、泣塔を活かした形でできるか検討している。整備

計画の中に盛り込む方向で拠点整備部と調整している。

「富士塚の塚が見えるように管理を」との具体的なご提案をいただいたので、市としても検討したい。

#### テーマ4 車のスピードの取り締まり強化について

##### ●大平山丸山町内会 曾根田会長

湘南町屋駅から山の上ロータリー、桔梗山へ抜ける道路と、山の上ロータリーから深沢中学校の前を通過、旧デニーズへ向かう道路であるが、裏道として紹介されているらしい。この道路は、時速30キロ規制になっているが、通行している車は、大体時速50キロぐらいのスピードは楽に出して走っている。住宅の中の道路であり、街道とは趣が違うと思う。町内からもクレームが出ている。以前からこの話はあったようだが、今回、鎌倉警察署梶原交番の巡査に、車のスピードを出しすぎについて相談したが、「交通課へ話をしてほしい」と言われた。この問題をどうやって解決したらよいのか分からないので、今回テーマとして提案した。月1回程度「スピード取締中」という表示を出してもいいのではないかと。それでもなお改善しないということであれば、取り締まればよいのではないかと思う。バイパス的に使われる道路の交通問題はこうしたらよいか、アドバイスをいただきたい。

これに関連して、要望を出そうと思っていることがある。湘南町屋駅から鎌倉中央公園へ向かう道について、まず中央公園の標識が小さくて入口がわかりにくい。立派な公園なのだから、もっと大きな標識を表示したほうがよい。また、ミニバスが入ってきて折り返していくところであるが、ミラーが一つしかない。十字路になっているので、上り下りの両方から見えるようにもう一つミラーを付けたほうがよい。交通整理の問題をもう少し考えていただきたい。

市役所で行う道路の補修がずさんである。道路に小さい穴が開いていたら、その部分だけ補修材を埋めるだけである。すぐに取り除けてしまおうし、歩いている人がつまずいてしまう。工事完了時に小規模な工事でも市で立ち会って確認していただきたい。

##### ○山内都市整備部長

スピードの取締強化について、抜け道マップへの掲載は承知していないが、時速30キロ以上のスピードで走っている車が見受けられるのも事実である。早速、鎌倉警察署交通課に取り締まり強化を依頼した。また、交通安全対策として現地調査を行って、路面表示の未表示箇所及び不鮮明になった標示の補修を早急に対応していきたい。さらに、交差点のカラー舗装等で注意喚起をしていきたい。

十字路のミラーが1つしかない件は、会長と現地を確認し、今後の対応を検討してほしい。

道路補修については、作業センターで行っているが、数が多いので丁寧にしきれていない

という指摘はもっともである。同じ箇所を再度補修することにならないよう、作業センターと調整していきたい。

#### ○土屋景観部長

鎌倉中央公園の入口の標識が小さく、分かりづらいこと、及び、ミラーが1つであるということ。この2点に関しては、現地を確認した上で、交通安全対策とあわせて協議をする。ただ、中央公園を整備するときに町内会といろいろと約束事がなされていたので、その内容を確認しなければならない。開場当初は、「あまり宣伝してくれるほしくない」という話があったと記憶している。そのような約束事を再度確認させていただいて、内容の分かる職員が対応させていただき、約束事があれば会長さんとも相談させていただいて、改善すべき点があれば改善を行う。担当課に早速調査を命じる。

#### ●大平山丸山町内会 曾根田会長

住宅地の中の道なのでいろいろな意見が出てくるし、支障も出てくることはやむを得ないと思うが、それをまとめていくのが町内会の仕事かも知れない。我々のアイディアも取り上げてもらい、市からも問題点を指摘してもらい、そこで調整していくということをお願いしたい。

### テーマ5 町内会の活動について

#### (1) 町内回覧について

#### ●常盤町内会 宮崎副会長

回覧用のチラシは、すべて町内会長宛に統一していただきたい。蚊とハエの駆除の回覧は、その後市の広報紙にも同様の内容が掲載されたので、情報が重複する回覧は控えてほしい。

計画停電の実施についての回覧は、緊急性を要するものであるものであるため、回覧ではなく、ポスティングか広報無線で知らせてほしい。

#### ○小磯市民経済部長

町内会長さんあての文書の出し方については、毎年、庁内で周知徹底してところである。

不都合な点があればご連絡いただきたい。7月1日にも各課長宛に再度周知した。

駆除剤の件は、これまでも町内会の回覧で周知していて、市の半数が協力いただいているが、協力いただいていない自治会や自治会に入っていない方のために広報紙にも併せて掲載しているのでご理解いただきたい。

計画停電の件は、回覧に代わる周知の方法やご指摘の内容について検討し、できるだけ早く、皆様のお手元に緊急の文書が届くように努力していきたい。

## テーマ5(2) ごみ置き場設置場所について

### ●常盤町内会 宮崎副会長

新たな宅地開発の際に、事前相談などの段階で、ごみ置き場を設置する義務付けはできないか。先日も3区画の開発があり、このときもごみの置き場所で町内会の役員が大変苦労した。市の職員にも来てもらい話し合いが行われた。できれば新しく開発される所は、市と業者で事前に話し合って、ごみ置き場をきちんと設置できるようにお願いしたい。

### ○相澤環境部長

原則として、クリーンステーションの位置は事前に業者と相談している。また、20戸以上の開発は、必ずクリーンステーションを設置することを義務付けている。それ以下の開発でも、近所のクリーンステーションが使えるか、使えないのであれば自分たちで作るよう指導している。今回の件は、大変面倒なケースとなり、皆様にはご迷惑をおかけした。

今後は、このようなトラブルがないようにクリーンステーションを設けていきたいので、皆様にもご協力をお願いしたい。

### ●常盤町内会 宮崎副会長

新しくマンションが出来たところは、アルミ製のきちんとしたBOXが置かれているが、中が見えないのでごみが雑然と入れられている。ごみを出す人の常識の問題だとも思うが、行政で指導はできないか。

### ○相澤環境部長

地元の推進員の方にご苦労をおかけしているのは承知している。地元の町内会長さんからも「自分で指導してみる」と言っていたが、不調ならお知らせいただきたい。クリーンセンターの指導員や職員が該当の集合住宅へ出向いて直接伝え、会えない方はポスティングの形で声かけを行う。

### ●梶原町内会 山井会長

開発申請の際に、クリーンステーション設置義務がある面積は決まっているのか。

### ○相澤環境部長

クリーンステーションについては、必ず作らなければならないのは20戸。20戸未満でも周辺の状況により指導することが出来るようになっている。

●梶原町内会 山井会長

20 世帯というとかかなり大きな開発になる。深沢地域で多いのは 600 平方メートルから 300 坪ぐらいで 8 軒程度の住宅が建ってしまうような開発である。そうすると、既存のクリーンステーションをその人達が一緒に使うと、ごみが完全に溢れてしまう。常盤は、ごみネットを町内会が補助して買っている。梶原は、全部個人負担である。そこへ、新しく来た人が溢れるくらいごみを入れてしまうことで、必ずトラブルが出る。また単に開発により、付近のクリーンステーションが飽和状態になるだけでなく、開発により動線が変わり、思わぬ場所のクリーンステーションでトラブルが起きるときもある。5~8 軒程度の開発でも新しい家が出来た場合は、ごみ置き場を設置してもらいように指導してもらわないと周りの住民としては大変迷惑である。今後の指導をお願いしたい。

●打越町内会 久保田会長

同じ業者なのに、開発を分け、事業者の名義も変え、開発許可を要らないようにする開発業者がいる。ある市議会議員からまちづくり条例で対応するという話も聞いたが、このような許可逃れがないようお願いしたい。

○山内都市整備部長

まちづくり政策部で、開発基準手続条例の見直しを行っている。従前の敷地を分割して、倍の戸数にしてしまうという開発が非常に多いということで、今、防止策を練っているところである。例えば、3 年間は連たんした開発ができないような条例の制定を進めている。

9 月の議会にはその条例案を上程し、成立後、皆さんに周知していく予定である。

テーマ6 深沢地区国鉄跡地周辺整備計画の進捗状況について

●梶原町内会 山井会長

深沢地区まちづくりもすでに 10 年以上経過しているが、3~4 年前に開発のコンセプトとして「ウェルネス」を決めた。要望を出す人は様々であり、ひとつとして同じ要望はなく、かなり、幅広い要望があった。しかし、最近出てきた図面をみると、ほとんど意見が取り入れられていない。改めてこの地図を見ると、最初からイメージが決まっていたのではないかという感じがする。参加した人達からも「ただのガス抜きか」というような意見もあった。また、この開発はどんどん進捗しているのに、国鉄跡地はそのままの状態である。

あと2年で、建屋を全部壊し、線路を全部外して、25 年度末には仮換地が出来るのか不安である。

関連で、中外製薬が今、工場を壊している。地下の汚水の問題が先日新聞に出ていた。この問題も国鉄跡地と関係があるのではないのかという気もするし、予定通りに行かな

いのではないかとも思う。市として、なんとしても 25 年度末までには仮換地を行うのか、進捗状況を教えていただきたい。

#### ○高橋拠点整備部長

平成 16 年 9 月に市民参画により策定された「深沢地域新しい町づくり基本計画」に基づいて、約 32 ヘクタールの深沢地域のまちづくりを先導的に行う面整備ゾーンの区域として、鎌倉駅、大船駅周辺に並ぶ第三の都市拠点の形成を図ると共に、市が抱える様々な課題、公共施設の再編整備の実現、将来目標人口に寄与するための都市型住宅の導入、雇用の場の創出、やすらぎ空間の創出、環境にやさしい低炭素社会の実現等の課題を解決するとともに、大船工場跡地の適切な土地利用の誘導と、県道腰越大船線の西側地区の抱える様々な課題の解決に寄与することを目的とした事業である。その後 18 年 3 月、JR 東日本鎌倉総合車両センターの工場機能の廃止があった。19 年 8 月に深沢地区事業推進委員会を設立し、22 年 9 月に土地利用計画案を策定した。この土地利用計画案の策定にあたり、19 年 10 月、西側権利者、地元町内会、商店街、公募市民、公的団体、学識経験者からなる深沢地区事業推進協議会を設立して、21 年 6 月に深沢地域の新しいまちづくりビジョンとして提言を受けた内容である。

その後、JR との協議を行っている。21 年 8 月には、第 5 回専門委員会において土壤汚染調査結果を踏まえた自社活用を含めた土地利用の再検討を行いたいとの報告もあった。

22 年 1 月には土壤汚染対策費と建物解体費の合計が、売却予定額を数十億上回るという検討結果の報告がある。併せて処理方法として封じ込めと完全浄化の 2 案の検討をしていく旨の報告も出ている。市としては、将来の土地利用の考慮や住民の環境問題の強い意向を伝えて、全面浄化で土壤汚染については処理してほしいと伝えた。

その結果、今年 6 月完全浄化で対策処理を検討している旨の報告が JR からあった。

7 月 1 日には横浜支社の設備部企画課の中に土地改良工事プロジェクトチームを設立して、本格的に土壤汚染、建物の除去に取り組んでいくという報告を受けている。ただし、数十億の単位のお金で処理をしていく事業なので、32 億円以上の工事費については、国際入札制度に抵触することから、準備に 1 年かかるという話を聞いている。入札が終わった段階でその建物撤去、土壤汚染を含めて 3 年くらい工事にかかると言われている。これと並行して都市計画の決定、仮換地の部分は並行して事務手続きを進めようとしている。

市としては今年度、皆さんの地域に入って、地区改測量、概略換地設計等の作業を行っているところである。今後一日も早く、事業着手に向け進めてまいるのでよろしく願いたい。できるだけ 25 年度仮換地が遅れないように準備したい。

#### テーマ外の発言

●琵琶苑自治会 原会長

防犯灯のLED化に伴う補助金の計画は鎌倉市ではどうなっているのか。駅周辺の自治会では、自治会の費用でLED化が進んでいると聞いている。現在 95 灯の防犯灯があるが、2 年半ぐらいで切れて取替えをして、1/2 の補助金を鎌倉市からいただいているという状況である。電気使用料は市の負担になるので、鎌倉市としても節電対策になる。市はLED化問題、特に補助金についてどういう計画でいるのか。

○嶋村防災安全部長

一部の町内会からLED化の話を聞いている。LEDへの改造に 4 万円程度かかるようである。電気料は、全額市が負担しているので、LED化は市のプラスになる。

来年度が実施計画の見直しの時期であり、財政状況が非常に厳しい中で、電気料の削減と改造費の補助金の見直しを行うことの案配を検討している。将来的に見て市の新たな負担増にならないこと、地域の人が「電灯が長持ちする」という意味でプラスになること、環境にやさしいことへの接点がどこになるのかを検討している。今の段階では、補助制度を変える検討はしていない。財政的な問題もあるので、関係部局と調整をしながら、引き続き検討していく。

●湘南常盤マンション管理組合 半田会長

放射能の測定を市としてやっていただけないか。

○嶋村防災安全部長

基本的には、放射能は広域的課題として捉えている。鎌倉市だけの話ではなく、神奈川県に対して大気中の放射線量や食物の測定を、県でやっていただくよう要望している。

一方、市として、市民の不安を解消するため、いくつかの測定を開始している。鎌倉市のホームページを見ていただくと、毎日の測定、週 1 回測定しているもの、学校・保育園での測定、土壌の測定。県がやっているのは海水、海水浴場では砂浜の測定を行っている。

建物については、神奈川県がやっているもの、市は学校給食の食材など、いくつかのメニューをこなしている。

●湘南常盤マンション管理組合 半田会長

空中や地上 20 メートル以上の測定値はあまり意味がない。要は土壌である。地上 30 センチメートル以下の測定をしてもらいたい。現実には、地元の小学校で測定したときに、マスコミでは放送していないが 80 デシベルの値が出ているところがある。特に水たまり。そういう発表をしていただければ、安心できるのではないか。

○嶋村防災安全部長

いくつかの子ども施設の施設では、低い位置での測定は行っている。

鎌倉市には、専門の研究機関、調査機関がない。ですから結果を公表している。

ただ、国の基準のあるものとないものがある。今は、調査をして公表することに留まっている。

●湘南常盤マンション管理組合 半田会長

防災無線のこと。100メートル超えたところに電波障害が出ると思うので、100メートル過ぎたところに中継基地を付けてくれれば全部きれいに聞こえるようになる。そういう検討はできないか。

○嶋村防災安全部長

市民の皆さまから防災無線が聞こえないという通報があると、職員が現場に出向き、まずできることとして、スピーカーの向きを変える微調整はやっている。子局から半径250メートル以内なら通常は聞こえる。しかし実際には、例えば、マンションでは1階は聞こえるが、上階は聞こえないなど、つまり風向きが原因であったりする。基本的には半径250メートル以内では、聞こえるはずであるが、地形や風向きがあるので、きめ細やかに、調整のできるものは調整を行い、できないものは複数の伝達手段を、例えば、消防フリーダイヤルに連絡すれば、防災無線放送と同じ内容が聞けるなど、補完手段を増やしていきたい。

●湘南常盤マンション管理組合 半田会長

風でも電波妨害が発生する。福島では、200メートルごとに付けて、全部聞こえるように設置している。鎌倉市の場合は、山などで電波妨害が起きやすいので、短い区間に設置してはどうか。

●鎌倉グリーンハイツ管理自治会 持舘氏

ごみ収集について。京都は夜間収集であり、午後8時以降にごみを出す。観光都市鎌倉において、観光客が目当たりにする、狭い道のクリーンステーション、カラスに食い荒らされているごみが見える状況はいかがなものか。夜間の収集は、人員体制が変わったりして大変であると思うが、世界遺産を目指している鎌倉市にあっては、景観を考慮に入れたごみ問題の進め方をしていただきたい。

○松尾市長

西日本では、夜間収集の事例があるという認識はしている。市としても検討していきたい。

ご指摘があった問題等、解決しなければならない問題は当然あるが、そのことも含めて前向きに検討していきたい。

●鎌倉グリーンハイツ管理自治会 持舘氏

屋間の京都はいい。ごみに出会わないというのはいいことだと思う。ぜひ考えていただきたい。